



2016トータルライフアップ全県集会開催

1月16日、前橋市総合福祉会館多目的ホールにおいて、2016トータルライフアップ全県集会を、産別・地協・議員懇など326名が参加し開催しました。

冒頭、富澤会長から、今春闘は、月例賃金にこだわった3年目の闘争になります。大手産別にけん引してもらい、地域に根ざした取り組みで中小地場まで波及させる。



また、非正規労働者が4割を超えるなか、将来不安を払拭するために「格差是正」「底上げ・底支え」を図り景気の好循環に結び付けていくことが必要である。

夏の参議院議員選挙においては12名の連合推薦候補予定者の当選に向け「連合群馬総体で取り組みを推進しよう」と挨拶がありました。その後、連合本部の曾原労働条件・中小労働対策局長より2016春季生活闘争方針について、今回の春季生活改善闘争では、『すべての働く者の処遇改善！「底上げ・底支え」「格差是正」で経済の好循環を実現！』をスローガンに、月例賃金の引き上げにこだわった取り組みを進める、くわえて、行き過ぎた格差の拡大に歯止めをかけていくと説明がありました。



具体的には3つの基本的考え方（①「底上げ・底支え」「格差是正」に寄与する取り組みの強化、②賃金水準改善の社会的波及を高める取り組み、③超少子高齢化・人口減少社会を踏まえた働き方と処遇のあり方の見直し）で取り組むこととし、なかでも今春闘においては、賃上げの流れを継続させる必要がある。また、賃上げ要求水準はそれぞれの産業全体の「底上

げ・底支え」「格差是正」に寄与する観点から2%程度を基準とし、定期昇給相当分（賃金カーブ維持相当分）を含め4%程度とする。さらに従来の取り組みに加え、サプライチェーン全体で生み出した付加価値の適正な分配に資する公正な取引の実現を重視し、その効果が広く社会に浸透すると説明がありました。

2016春季生活闘争【4つのキーワード】

1. 持続性

2. 月例賃金

3. 広がり

4. 底支え



また本集会では、経済ジャーナリストの須田慎一郎氏を講師に迎え「2016年日本経済～いま起こっていること、これから起こること～」をテーマにした講演が開催され、講師からは、安倍政権が発足して3年が経過する。しかし、アベノミクスの効果では景気回復の実感は得られていないのが実態である。また、安倍政権の「新三本の矢」についての狙いや課題など、正しく認識してもらうために具体的な事例を挙げた話があり、参加者は熱心に聞き入っていました。



集会の最後では、参議院議員選挙、連合推薦候補予定者12名と支援産別を紹介するとともに、全員の必勝とトータルライフアップ活動の前進に向けて、参加者全員でガンバロー三唱をおこない意思統一を図りました。

2016新春 労使共同 セミナー

1月21日、今年で14回目となる新春労使共同セミナーを前橋テルサにて開催し、連合群馬・群馬県経営者協会より400名が参加しました。冒頭、経営者協会の児玉会長からは『経済情勢は円安など経済成長戦略にはほど遠いものがあり、政府に頼らず労使協調で力を合わせていきたい』、また、富澤会長より『コンプライアンスの問題など労働組合がチェック機能を果たしていきたい。諸先輩方が築き上げた労使関係についてこれからタッグを組み、諸課題に取り組みたい』と挨拶がありました。

講演会では昨年から盛り上がりを見せているラグビー界から、元日本代表の大畑大介さんを迎え、ラグビー人生の岐路にたった時からの経験など講演をいただきました。



大畑 大介

OHATA DAISUKE

- 小学校3年生でラグビーを始める
- 東海大学付属仰星高等学校出身、高校選抜に選ばれる
- 京都産業大学で日本代表
- 世界で活躍、国際試合トライ数世界記録樹立
- 神戸製鋼コベルコスティーラースと契約
- 2011年現役引退

トライ数世界記録樹立した ラグビー元日本代表

「為せば成る！」

「迷った時はしんどい方を選べ！」とは



泣き虫であかんたれ大介少年、友達の輪には入れず、なかなかコミュニケーションが取れなかった。周りは阪神タイガースファンが多く、野球で盛り上がるなか、父親がラグビーをやっていたこと、近くに花園ラグビー場があった環境で小学校3年生からラグビーを始める。

ラグビーを始めたことで、足の速さを武器に周りが次第に評価してくれることが大きな力となった。友達とも仲良くなり、嘘のように心が開けてきた。



なったらいいなあではなく！自分になれるんだという気持ち「為せば成る！」精神

チームの成長と自分の成長を感じることができるとはなれないかと強豪校ではない高校へあえて進学。『右足には全国制覇、左足には高校日本代表。』の目標設定し、体が小さい方だったので、まず脚力をつけた。なったらいいのではなく、なるにはどうしたらいいのかを考え行動して、自分になれるんだという強い気持ちで「為せば成る！」精神がついた。2年で全国大会を出場するがケガに見舞われる。3年では大阪府大会で負けてしまい、“右足目標”は達成できなかった。高校選抜で繰上げ代表として選ばれるが、海外遠征で自分をアピールすることができず悔しい思いをした。



周りと比べるのではなく
自分の中で一番がラグビーと決めていた

6年から中学までは、成長期による足の痛みで走ることができなくなった。骨折や肉離れとは違い物理的に難しい状態になり、自分の力を出せない表現できないもどかしい時代となった。

しかし、ラグビーで走ることが楽しいのはわかっていたのでやめなかった。子どもも20年経てば成人。20年向き合えば次のステージに行けるのではないかと。



AとBの選択肢があるときは、しんどい方を選べ

大学の進路を決める段階では、父親から「AとBの選択肢がある時は『しんどい方を選べ』』と言われてきた。自分の行きたい学校ではなく、自分の足りないものを補えるところを選ぼうと、練習量が多い大学を選んだ。大学3年で日本代表に選ばれる。ワールドカップの勝利を目標に戦い、07年が最後のワールドカップとして貢献したいとの思いがあった。しかし、直前の二度のアキレス腱断裂により、出場できなかった。

プレイヤーとしてこんなプレーをしたいではなく、“大畑大介”がプレーすることで周りの人たちにプラス作用が生まれることが一番の目標であり引退まで頑張れた。現在は、女子ラグビーのプロデュースをしています。大畑の名で化学反応を起こして、後輩たちに何かを残していきたい。



その昔、群馬で有名な某チームで活躍し、大畑さんと戦ったこともある金子副事務局長は講演を聞き…

「ボールを持てるまでの努力。ボールを持った時の正確性やそれぞれのポジションで責任を持つことで認められる。」という言葉にあった通り、適材適所でそれぞれが自分たちの仕事を全うしながら、お互いに良いところ悪いところを補い、高め合うことが大切だと思いました。

労働条件向上の【春闘】と生活向上の【政策実現】

なぜ連合群馬は1万人アンケートを行うのか？

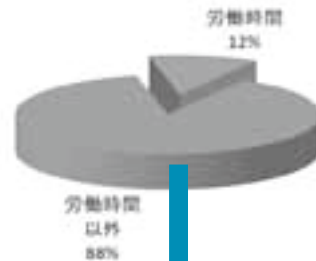


右のグラフは、人生80年と仮定したときの一般的な勤労者の生涯時間を表したものです。高校を卒業し、65歳までの年間総労働時間を2,000時間とした時、企業や職場にいる時間は、人生のうちわずか12%ではありません。

この時間で起きる賃金や働き方などの問題に対しては労使交渉によって解決が出来るかもしれませんが、残りの8割強は、地域社会の中で生活をしているわけであり、私たちがより良い人生を送るためには、地域社会の問題・課題こそ解決していく必要があります。

連合群馬が運動を通じて地域社会の課題に対し、「政策・制度要求提言」という形で活動が出来るということも多く組合員が参画しているという結果であり、まさに私たちが結集している意味がここに 있습니다。この「政策・制度要求と提言」を作成するにあたっては組合員をはじめ、地域住民の意見集約を行い群馬県民の声として各自治体の首長に意見提起を行っています。そして県民の意見集約の取り組みの1つとして「県民意識調査(アンケート)」の展開があり、組織内:組織外=4.5:5.5の比率で集約をお願いしています。毎年県内在住の1万人を超える幅広い職種・年代の方からご協力をいただき、政策要求の信ぴょう性を高めるために活用するとともに、詳細な分析を行っています。

一般的な勤労者の生涯人生における労働時間と労働時間以外の比率



圧倒的に地域社会で過ごす時間の方が多い!



政策・制度要求と提言に向け始動

県民意識調査の作成にいたっては、昨年末から、構成組織・地協で構成する政策委員会が中心となって作成しています。また、議員懇も加わり、県政の課題を盛り込みながら作成しております。

なお、今年は下記の5項目が主なポイントとなっています。

- ・ 地方創生
- ・ 障がい者雇用
- ・ 教育の推進
- ・ 選挙権年齢の引き下げ
- ・ 地域包括ケアシステム

「県民意識調査」は2月より実施中です。

お手元にアンケートが届きましたら、ご協力を宜しくお願いいたします。



【連合の政策実現】について、取り組みの意義や実現に向けた具体的な考え方についてシリーズで解説をしていきます。

今回は「県民意識調査」について、解説しました。次回は、これまでの提言の成果や予算への反映実績などを解説します。

連合群馬の運動について学ぶ

1月16日、前橋市総合福祉会館において、新たに地協や産別の役員になられた方を対象に新任役員研修を開催し49名の方が参加。

研修の前半では労働組合の歴史、連合ならびに連合群馬の労働運動の考え方や私たちが目指すべき方向について、後半では連合群馬の第15期活動方針である7つの項目について学習しました。

参加者からは地協に求められている機能などについての質問や地協機能の全体での共有化が重要など、活発に意見交換が行われ、有意義な研修会となりました。



Information

非正規労働者の組織化事例を学ぼう

～働く仲間、臨時職員やパート職員の組織化～

同じ職場で働く労働者の均等待遇が連帯をつくりだしていくという共通認識が大切です。実際に非正規労働者の組織化に力を入れる担当者から良策を学びましょう。

日時：3月30日（水） 18：30～20：00

会場：太田市浜町勤労者会館

日時：4月6日（水） 18：30～20：00

会場：高崎市労使会館

★両日は同内容、50名規模です。自治労・UAゼンセンから組織化事例。連合本部から組織化の必要性について学びます。

申し込み・問い合わせ 組織担当 飯田・吉田

Information

労働組合がチェック機能をはたそう

～労働者派遣法・若者雇用促進法の改正点～

派遣先の労働組合がチェックできますか？

- ☒ 派遣元事業主が実施する派遣労働者の安全に関する措置への必要な協力や配慮がされている？
- ☒ ①禁止業務への派遣、②無許可事業主からの役務の提供、③期間制限違反、④いわゆる偽装請負等が行われていないか？

日時：4月9日（土）13：00～15：00

会場：群馬県勤労福祉センター 第1・2会議室

規模：50名

対象：労働組合側、会社側（人事担当者など）

講師：群馬労働局需給調整室

申し込み・問い合わせ 労働担当 金子・山田

連合群馬 facebook やってます！ —いまやSNS利用の中で FBは28.1%の利用率—

①【準備】アカウントがない方はメールアドレスを使って登録！
パソコンでもスマホでもできます！

②facebookにログインして下さい。

③連合群馬を検索して「いいね」でフォローできます。

④それぞれの記事にも「いいね」を押して、情報を共有しましょう。



ずっと使う番号だから大切に！ 「マイナンバー（個人番号）」

国民一人ひとりがもつ12ケタの番号（マイナンバー）は、1月より税や社会保障の手続きでマイナンバー利用とマイナンバーカードの交付がはじまっています。

マイナンバーに関するお問い合わせは
総務省フリーダイヤル

0120-95-0178 へ

平日 9：30～22：00

土日祝 9：30～17：30



～安心して働きたい・暮らしたい～
【労働組合基礎調査結果について】

厚生労働省は2015年12月24日「平成27年労働組合基礎調査の結果」を発表しました。それによると全国の労働組合員数は約988万人、推定組織率は17.4%となり前年より約3万3千人増加し、これまで減少傾向であった労働組合員数が増加に転じたと報じています。

一方で群馬に目を向けると、群馬県が2016年1月18日に発表した労働組合員数は約14万3千人で、昨年と比較し約760人の減少となりました。また、労働組合の推定組織率を見ても、16.6%となり前年比0.2ポイントの減少となっています。その理由としては組合員の数が減少したことが挙げられますが、非正規労働者の増加が一番の要因と考えられます。私たちが目標として掲げる「1000万連合」の実現に向けては非正規労働者や中小地場企業の組織化はもとより社会的影響力のある未組織産業・企業の組織化に向け、より一層の取り組みが必要です。

組織に属さない労働環境、いわゆる個別的な労使関係のもとでは、労働者はどうしても弱い立場に立たされざるを得ない状況におかれますから労働環境の改善はなかなか進みません。やはり集团的労使関係のもと、労使が対等な立場で協議し環境改善を実現していくことが必要となります。

今次春季生活闘争を通じた労働条件の「底上げ・底支え」「格差是正」の推進や、現政権が推し進めようとしている労働者保護ルールの改善を阻止する上でも、組織の拡大・強化は最重点の取り組みです。安心して働ける環境作りにつなげるためにも、私たち一人ひとりが仲間を作り、その輪を広げていく行動を起こすことが求められます。

（飯田）